



大浦の丘

本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市立大浦中学校
学校便り NO. 1
令和4年4月28日発行
文責：校長 竹市保男

キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」

令和4年度がスタートしました！！

お詫び・・・学校だよりの発行が遅くなってしまい大変申し訳ありませんでした。さて、4月6日が始業式・・・今日から、新しい学級で新しい学年が始まりました。生徒たちは皆、新たな決意を胸に秘め校門をくぐってくれたことでしょう。何より、春休み中に大きな事件や事故なく始業式を迎えることができたことを嬉しく思いました。

そこで、校長として生徒たちにこんな話をしました。・・・「誰からも褒められる生徒になってほしい。」、そのために頑張ってもらいたい「キーワード」が二つ。一つめは、「当事者意識」、二つめは、「主体性」です。一つめの「当事者意識」とは、相手の気持ちを自分の事として考えられる力こと。「主体性」とは、今、何をすべきか自ら考え行動する力です。学校生活を送る上では、良いこと、悪いこと等・・・、たくさんの場面に遭遇するでしょう。そんな時に、この「当事者意識」と「主体性」という言葉を思い出して、「自分のため」、「仲間のためになる言葉や行動」を頑張ってもらいたいと思っています。どんな時も、「冷静に状況判断する力を身に付け、自主的に、自信を持って行動できる生徒になってほしい」と願い、話をしました。

また、4月7日の入学式では・・・あたり前のことが当たり前に見えるように頑張ってもらいたいことを四つ話しました。

一つめは、自ら、「明るく元気で、大きなワンストップ挨拶」ができる生徒になろう。二つめは、「いじめを絶対にしない、させない、許さない」という行動や発言ができる生徒になろう。三つめは、授業に集中し「学習規律」を徹底できる生徒になろう。四つめは、自ら「家庭学習」に取り組む生徒になろうということです。

この四つことを頑張り、頑張った自分をほめてあげられるようになってほしいと思います。生徒たち自らが、1年間をかけて本気で取り組むことができれば、中学生として大きく成長することでしょう。

学校の主人公は、生徒たちです。私たちは、生徒を真ん中に据え、情熱と愛情を傾けて教育活動にあたります。そして、三年後には「大浦中学校に通って良かった」という思いを抱いて、本校を巣立っていく生徒たちを育てていきます。どうぞ、保護者皆様、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4度の転入職員を紹介します！ 4名の先生方、どうぞよろしく願いいたします！！

教諭	大石 恵子（国語）	長崎市立小島中学校より
教諭	佐藤 俊介（保体）	長崎市立岩屋中学校より
講師	坂本 博康（保体）	長崎市立東長崎中学校より
講師	荒木 友輔（数学）	

大浦中学校の合言葉→「いじめをしない、させない、許さない！！」

学校に登校すること。学校が楽しいと思えること。明日も学校に行きたいと思う自分がいること。このようなことは、しごく当然のことのようには思えますが、実は、心の悩みや対人関係の悩み等々で学校に登校できない子どもたちがいるのが現実です。

大浦中学校は、全生徒が、「学校が楽しい、明日も学校に行きたい！」と思ってくれる学校を目指しています。そして、全生徒の元気な笑顔と楽しい会話が聞こえる「明るく温かな学校」を目指します。その実現のためには、いじめが絶対にあってははいけません。いじめゼロの学校でなければなりません。この1年間を通して、生徒一人ひとりが、仲間を思いやり、仲間の痛みを感じ、仲間を励まし、仲間と共に成長し、向上していこうとする生徒の育成に、本校は力を注ぎます。そして、「いじめをしない、させない、許さない。」という発言や行動ができる強くて優しい心をもった「大中生」を育てていきます。

そのためには、私たち大人が、生徒の良いところを認め、伸ばしながらも、生徒の許せない行為に対しては、「ダメなものはダメ」と、毅然な態度で向き合い指導していくことが不可欠です。保護者の皆様、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ濃厚接触者の期間と制限変更について・・・再度お知らせします。

【 同一世帯内で感染者が発生した場合 】

4月18日から、家族に感染者（陽性者）がいた場合、同居の家族は全員、自動的に濃厚接触者となります。もし、家族に感染者（陽性者）がいた場合は、すぐに学校へ連絡をお願いいたします。その後は、同居の家族全員が自宅待機となってしまいます。自宅待機期間：原則7日間となっています。

【 感染防止対策の4つのポイント 】

- ①感染源を断つこと。 ②感染経路を断つこと。
- ③抵抗力を高めること。 ④3密を避けること。

長崎県内のコロナ感染者は、増加傾向にあります。感染防止のために、引き続き「換気」「手洗い」「手指消毒」「コップ類の共用」をしないこと等を徹底しましょう。

ゴールデンウィークに入ります。危険なSNS利用はやめましょう

「近年は、スマートフォンの普及により、全国的に家庭等で居場所のない少年がSNSを利用して言葉巧みに呼び出され、未成年者誘拐や性犯罪等の福祉犯事件被害に遭っており、過去には少年の命が奪われた事件も発生しています。本県においても、本年の夏休み期間中、佐世保市内の男子中学生が、SNSを利用して知り合った相手（30歳代、男性）から誘い出され、車で連れ回される営利目的等誘拐事件の被害に遭っています。

少年がSNSを利用して出会いや居場所を探し求めるのは、家庭、学校及び交友関係の悩みなど様々な要因がありますが、少年がインターネット上の相手に求めることがないよう、普段から親子でのコミュニケーションや過ごし方に工夫が必要であることはもちろんのこと、少年に対し、身近にいる信頼できる大人（学校の先生、親戚など）に普段から相談することなど、安全に悩みを解消していく方法を具体的に教えていくことも大切です。」 ～県警サポート通信より抜粋～

明日から、6日間の長いゴールデンウィークが始まります。皆さんは、これまでよく頑張って中学校生活を送っています。これからは、体育大会や中総体も控えています。興味本位な行動で、事件や事故に巻き込まれないようにしましょう。

